

会 議 結 果 報 告 書

会議名	令和8年度大野中地区まちづくり会議(第2回全体会)				
開催日時	令和8年6月18日(木) 午後7時00分～午後8時30分				
開催場所	大野中公民館1階 大会議室				
出席者	委員	20人(別紙のとおり)			
	その他	0人			
	大野中まちづくりセンター	2人			
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 不可	<input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由					

審 議 結 果

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 新任委員の紹介

4. 議 題

(1) 地域活性化事業交付金活用事業「古淵ワイルドフェス 2026」について

大野中まちづくりセンター及び申請団体から資料に沿って2年目の事業として説明した。また、協議の結果、意見はなかったが、大野中地区まちづくり会議として事業に引き続き賛同することとなった。

(2) 副会長の選出（欠員補充）について

大野中地区交通安全母の会の古賀会長が副会長に選出された。

(3) 第9期相模原市南区区民会議委員の推薦について（報告）

大野中まちづくりセンターから役員会での協議の結果、前期同様、田村副会長を区民会議委員として推薦することを報告した。

(4) 『令和8年度大野中地区まちづくりを考える懇談会』に係る検討について

テーマ「ごみの問題について」

ア. グループ討議の結果について（まとめ）

大野中まちづくりセンターから資料に沿って説明をした。

イ. 懇談事項（案）について

大野中まちづくりセンターから資料に沿って案1～3の役員案を説明した。協議の結果、案1～3を採用することで決定した。

なお、主な修正箇所は、以下のとおり。

- ・「(案1) ごみの減量化について」の②の内容を生ごみの乾燥機の補助に関する内容に修正して、③の内容に含める。
- ・「(案2) 自治会未加入者のゴミ出しについて」の2行目の「管理費を支払わない」を「維持管理費を支払わない」に修正。

その他、主な意見は以下のとおり。

(案2) 自治会未加入者のゴミ出しについて

- ・転入者に対して、市はどの様に説明しているのか聞きたい。
- ・これを市に尋ねても、地域で上手くやってください、と言われるだけなのでは。どういった意図で、これを市に投げかけるのか。
⇒他の地域では、自治会に入らないのであれば、ごみ集積所は使わないでください、というところもある様なので、市に改めて見解をお尋ねしたい。(森会長)

ウ. 当日の役割分担について

以下のとおり、役割分担を決めた。

【司 会】大久保副会長

【閉 会】古賀委員

【発表者（案1）ごみの減量化について】家田委員

【発表者（案2）自治会未加入者のごみ出しについて】細谷委員

【発表者（案3）市モデル事業「ふれあい収集」について】高橋委員

エ. 候補日について（日程調整中）

場 所：大野中公民館 大会議室

第1候補：11月12日（木）18：00

第2候補：11月10日（火）18：00

第3候補：11月 5日（木）18：00

5. その他

(1) 各団体の情報提供・情報交換について

意見なし。

6. 閉会あいさつ（新山委員）

以上

大野中地区まちづくり会議委員名簿

(まちづくり会議委員の役職：会長◎、副会長◇)

No	推薦団体名	役職等	氏名	備考
1	大野中地区自治会連合会	会長	◎森 逸雄	出席
2	大野中地区商店会	代表	◇田村 小次郎	出席
3	大野中地区老人クラブ連合会	代表	◇小林 太	出席
4	大野中地区社会福祉協議会	会長	◇原口 和博	出席
5	大野中公民館	館長	◇大久保 宗俊	出席
7	大野中地区自治会連合会	副会長	細谷 剛	出席
8	大野中地区自治会連合会	副会長	川島 光子	出席
9	大野中地区自治会連合会	副会長	玉利 博	出席
10	大沼公民館	館長	佐藤 純	出席
11	大野台公民館	館長	高安 祥介	出席
6	大野中地区民生委員児童委員協議会	会長	大西 アヤ子	出席
12	大野中地区子ども会育成連絡協議会	代表	野口 裕光	欠席
13	大野中地区防犯協会	代表	平野 大介	欠席
14	大野中地区交通安全母の会	代表	古賀 幸枝	出席
15	大野中地区連合自主防災隊	代表	高橋 健一	出席
16	相模原市消防団南方面隊第3分団	代表	西口 卓也	出席
17	大野中地区企業(大野台事業所協議会)	代表	木内 健博	欠席
18	大野中地区青少年指導委員	代表	新山 静江	出席
19	大野中地区スポーツ推進委員	代表	高田 祥次	欠席
20	大野中地区小学校PTA	代表	竹川 玲央	出席
21	大野中地区中学校PTA	代表	簾 重美	出席
22	大野中地区健康づくり普及員	代表	岡田 美智子	出席
23	大野中地区ボランティアグループ	代表		
24	大野中地区地域包括支援センター	代表	家田 未来子	出席

令和8年度 大野中地区まちづくり会議【第2回全体会】 次第

日時：令和8年6月18日（木）午後7時00分

場所：大野中公民館 大会議室

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 新任委員の紹介

4. 議 題

(1) 地域活性化事業交付金活用事業「古淵ワイルドフェス 2026」について

(2) 副会長の選出（欠員補充）について

(3) 第9期相模原市南区区民会議委員の推薦について（報告）

(4) 『令和8年度大野中地区まちづくりを考える懇談会』に係る検討について
テーマ「ごみの問題について」

ア. グループ討議の結果について（まとめ）

イ. 懇談事項（案）について

ウ. 当日の役割分担について

【司 会】大久保副会長

【閉 会】古賀委員

【発表者（案1）ごみの減量化について】 委員

【発表者（案2）自治会未加入者のごみ出しについて】 委員

【発表者（案3）市モデル事業「ふれあい収集」について】 委員

エ. 候補日について（日程調整中）

場 所：大野中公民館 大会議室

第1候補：11月12日（木）18：00

第2候補：11月10日（火）18：00

第3候補：11月 5日（木）18：00

5. その他

(1) 各団体の情報提供・情報交換について

6. 閉会あいさつ

地域活性化事業計画書

○申請者

団体名:一般社団法人 はてなボックス
代表者の役職及び氏名:齋藤 茂樹
代表者の住所又は所在地:相模原市緑区西橋本 1-19-53
担当者連絡先(氏名、電話番号、FAX番号、電子メール)
竹川耕一郎・080-1358-5429・info@hatenabox.jp

○事業名 (事業の名称を記載してください。)

古淵ワイルドフェス 2026

○事業実施の背景や地域の現状と課題(地域で困っていることや活性化が必要なことなど、事業を実施することとなった背景事情を記述してください。)

相模原市南区・大野中地区では、地域コミュニティの希薄化や、世代間交流の減少が課題となっています。特に、子どもたちが地域の大人と関わりながら「本気で夢中になれる体験」ができる機会は減少しており、地域への愛着形成や居場所づくりが求められています。会場となる古淵鵜野森公園は、**自然豊かな環境**を持つ一方で、**広域避難場所**としての防災機能も担う重要な地域資源です。しかし、防災拠点としての役割や、公園の魅力を地域住民が**十分に体感できる機会**は多くありません。

昨年度開催した「古淵ワイルドフェス」では、子どもから高齢者まで**幅広い世代**が参加し、参加型ステージやワークショップを通じて**自然な交流が生まれました**。特に、参加型ステージでは「**今までつながりのなかった同士と一緒に盛り上がる空間**」が生まれ、地域のつながりづくりに大きな成果がありました。

参加した子どもたちからは、「いろんなイベントに行ってきたけど、古淵ワイルドフェスが一番楽しかった！そして記憶に残っている！中学生になっても参加したいからぜひ来年も開催してください！」という声も寄せられ、地域イベントが単なる“遊び”ではなく、“未来につながる地域体験”となっていることを実感しました。

第2回となる今年度は、昨年度好評だった「参加型ステージ」をさらにブラッシュアップし、地域団体・学校・消防署・プロスポーツチームなど多様な主体と連携しながら、「地域文化」「防災」「自然体験」「世代間交流」を融合した、地域全体でつくるフェスを目指します。

○事業の目的 (事業の実施により達成しようとする目的を記述してください。)

本事業は、子どもから高齢者までが「心を解放して、夢中になれる体験」を共有しながら、地域交流・防災意識・地域文化への愛着を高めることを目的としています。

また・地域住民同士の交流促進 ・子どもたちの健全育成 ・地域文化・伝統の継承 ・防災意識の向上 ・地域団体同士の連携強化 ・公園や地域資源の魅力発信 を通して、大野中地区の活性化と持続可能な地域コミュニティ形成を目指します。

○事業内容(当該事業の具体的な内容を記述してください。)

【1】参加型ワイルドステージ

昨年度最も盛り上がったコンテンツをさらに強化し、「見るステージ」ではなく、“みんなで参加するステージ”として展開する。

内容(予定)・腕相撲選手権 ・大声選手権 ・担架チャレンジ ・綱引き対決 ・ワイルド障害物チャレンジ ・地域プロスポーツ選手との対決企画 など、地域の大人・子ども・高齢者・スポーツ選手と一緒に参加し、「本気で楽しむ空間」をつくる。

【2】地域パフォーマンスステージ

地域で活動する団体・学校・子どもたちによる発表の場を設ける。

内容(予定)・地域よさこい団体演舞 ・中学校吹奏楽部演奏 ・保育園・幼稚園発表 ・ダンスチーム発表 ・地域音楽ライブ ・太鼓演奏 ・地域団体 PR など、地域で頑張る人たちが“主役”になれるステージを目指す。

【3】防災・火災予防ブース

消防署と連携し、防災や火災予防について「楽しく学べる体験型ブース」を展開する。

内容(予定)・消火器体験・AED体験・煙体験・防災クイズ・子ども消防服体験・起震車体験・防災炊き出し体験 など遊びながら、防災意識向上につなげる。

【4】ワイルド体験ワークショップ

自然・火・木・道具などを使った、“普段できない体験”を提供する。

内容(予定)・ひのき輪切り体験・焼き火体験・焼きマシュマロ体験・薪割り体験・火起こし体験・ロープワーク体験・木こり体験・木エクラフト・ネイチャービンゴ・野外コーヒー体験・ワイルド飯づくり・ドラム缶ビザづくり・アウトドア遊び体験 など、“自然の中で夢中になる体験”を通して、子どもたちの挑戦心や創造性を育む。

○事業スケジュール（実施の時期と内容を記入してください。）

実施時期	実施内容	備考
5月下旬	後援申請（市・教育委員会）	
6月中旬	出店者・出演者 調整	
7月上旬	チラシ作成	
8月上旬	広報活動（自治会情報誌・タウンニュース・SNS）	
9月上旬	チラシ印刷→配布（小学校・公民館・自治会）	
9月下旬	会場レイアウト決定	
	各方面 ご挨拶	
10月中旬	出店者・出演者 最終確認	
10月25日	イベント当日	
11月上旬	実行委員にて、反省会→次年度に向けて改善	

○次年度以降の事業計画及び事業展望（次年度以降の事業計画、事業の拡大、他の地域や他団体への広がりなどを記述してください。）

本事業を単年度イベントではなく、「地域の恒例イベント」として継続開催していく。

今後は、・地域学校との連携強化・子どもボランティア育成・地域防災訓練との連携・地域スポーツ団体との協働・商店会・自治会との共同企画などを進め、「地域みんなで作るフェス」として発展させていく。

また、古淵鶴野森公園を「交流」「防災」「自然体験」の拠点として活用し、地域コミュニティの再構築につなげていく。

○総事業費

・予算総額：300,000円 ・(内交付金申請見込額)：300,000円

○事業実施の背景や地域の現状と課題をどのように捉えたか（当該事業の実施が必要な状況の発生源にチェックしてください。複数回答可能。）

- 自己認識（自分でそう感じている）
- 話合い（地域の複数人がそう感じている。）
- 調査（アンケート調査や聞き取り調査を行った。）
- 先進事例（他地域や他市町村等で取り組まれている。）
- 社会的課題（ニュースや新聞等で話題になっている。）
- その他（内容：古淵鶴野森公園指定管理者からの相談があり、昨年度の参加者からも「開催して欲しい」と願いがあったため）

検討経過や調査、研究の内容、先進事例などの具体的内容：

○**交付金の対象事業**（交付金の対象となる事業のうち、どの項目に該当すると考えているかチェックしてください。）

- 地域の防災・防犯に関する事業
- 地域の保健・健康づくりの増進に関する事業
- 地域福祉の増進に関する事業
- 産業や観光の振興に関する事業
- 環境の保護・保全に関する事業
- 青少年の健全育成に関する事業
- 地域の文化・伝統の振興に関する事業
- 生涯学習に関する事業
- 地域及び地域活動の情報発信及び広報に関する事業
- 区が推進する重点事業
- その他地域のコミュニティづくりを目的とし、区長が特に認める事業

○**事業の状況**（新規事業か既存事業のリニューアルかチェックしてください。）

- 新規 既存 既存事業の拡大
- 過去の地域活性化事業交付金の交付状況： 有（交付年度 令和7年度）・ 無
- 他の市の補助制度の交付状況： 有（交付年度 年）・ 無

○**重点項目**（当該事業が要綱の優先的な対象事業に該当する場合は、その項目にチェックし、具体的な内容を記述してください。）

自治会加入促進

具体的内容：

- 地域における公共的な活動の担い手育成

具体的内容：本事業では、地域住民が主体的に関わり、企画・運営・広報など多様な役割を担う体制を構築します。特に小中学生や若者がボランティアとして参加することで、地域文化や防災への理解を深めると同時に、次世代の担い手として成長する機会を提供します。さらに、自治会や地元団体との協働を通じ、世代を超えた学び合いと実践の場をつくり、将来にわたって持続可能な地域活動を支える人材育成を目指します。

公共的な活動への参加者増加

具体的内容：

- 地域の公共的な活動団体間の連携強化

具体的内容：本事業では、自治会、学校、福祉団体、商店会など多様な地域団体が協働し、企画段階から参画する体制を整えます。防災体験や文化交流、環境保全活動などを通じて、それぞれの団体の強みを生かし合い、横のつながりを深めます。こうした連携は、単発のイベントにとどまらず、地域課題の解決や住民同士の支え合いにつながり、持続的で強固な地域コミュニティの形成を推進します。

まちづくり会議が提示した地域課題の解決

具体的内容：

令和8年度 収支予算書

1 収入の部

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 (A) — (B)	説 明
市交付金	300,000円	254,000円	46,000円	
収入合計	300,000円	254,000円	46,000円	

2 支出の部

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	増 減 (A) — (B)	説 明
音響設備	130,000円	100,000円	30,000円	
チラシ代	45,000円	35,000円	10,000円	
ポスター代	20,000円	10,000円	10,000円	
法被代	0円	60,000円	-60,000円	
インク代	0円	20,000円	-20,000円	
スタッフTシャツ	30,000円	0円	30,000円	
会場費	20,000円	4,000円	16,000円	
レンタル費	30,000円	0円	30,000円	腕相撲台
保険代	20,000円	20,000円	0円	
食糧費	5,000円	5,000円	0円	ボランティアスタッフ
特別経費				
支出合計	300,000円	254,000円	46,000円	

※特別経費：交付対象経費のうち1万円以上の財産を購入する場合は、この欄に記入

グループ討議の結果（令和8年度第1回全体会）

【Aグループ】

- ・ごみの量を減らすために、一般ごみの分別とリサイクルを更に進められないか。
- ・ごみ集積所について、自治会未加入のアパート住まいの方が、ごみ出しのルールを守れていないイメージがある。
- ・自治会未加入者が自治会管理のごみ集積所にごみ出しをすることの是非について、市の担当部署に質問したところ、未加入者であってもごみを捨てて構わない、と言っていたが、市には、職員に対して教育をし直していただきたいのと、改めて考え方も確認したい。

【Bグループ】

- ・ごみ袋の有料化によりごみを減らせるのではないか。また、それを促進するため、市がポイント還元制度を併せて実施できないか。
- ・ごみの焼却灰の資源化を進めるために、コンクリやアスファルトにするなどの再利用化をもっと図れないのか。他市の事例を含めて、市で検討してはどうか。
- ・ごみ集積所に自治会の非会員が捨てているが、掃除当番を守らな

い、ごみ集積所からはみだして捨てるなど、マナーが問題となっていて困っているのです、どうにかならないか。ごみを捨てている人の半分くらいが、非会員であり、自治会では限界があるので、市も考えて欲しい。

【Cグループ】

- ・市民が、生ごみを乾燥させてからごみに出すようにすれば、燃やす時間が短縮されて、市の経費節減にもなるのではないか。
- ・市のモデル事業であるふれあい収集について、要介護4以上又は身体障害者手帳1・2級という要件は、ハードルが高いため、要件の緩和をお願いしたい。また、高齢化が加速しているため、市では2028年度に全市展開の予定と伺っているが、スピードアップして取り組んで欲しい。
- ・カラスがごみ集積所の隙間からごみを取り出して、散らかして困っているのです、市で、カラス対策の蓋付きのケースを配布して欲しい。

事務連絡
令和8年5月13日

南区役所各まちづくりセンター所長 殿

南区役所区政策課長

第9期相模原市南区区民会議委員の推薦について（依頼）

このことについて、各地区まちづくり会議からの委員推薦について、御手配頂きますよう宜しくお願いいたします。

- 1 推薦委員数 1人
- 2 提出書類 別紙1通
- 3 推薦期限 令和8年6月30日（火）

※ 委員の任期は令和8年7月30日から令和10年7月29日までとなります。

以上

南区役所区政策課
担当 菅野、三宅、高木
電話 042-749-2134
FAX 042-749-2116

8南区政 第452号
令和8年5月13日

大野中地区まちづくり会議
会長 森 逸雄 様

相模原市長 本村 賢太郎



第9期相模原市南区区民会議委員の推薦について（依頼）

時下、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろから、区政の推進に御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成22年4月の政令指定都市移行に伴い、各区に区民会議を設置し、現在、第8期区民会議に貴会からも御参画いただき、区民と行政の協働によるまちづくりの方策について検討を進めていただいております。

つきましては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、第8期相模原市南区区民会議委員が令和8年7月29日をもって任期満了となることに伴い、貴会から引き続き第9期相模原市南区区民会議へ御参画を願いたく、委員の推薦について次のとおり御依頼申し上げます。

- 1 推薦委員数 1人
- 2 提出書類 別紙1通
- 3 推薦期限 令和8年6月30日（火）

※1 委員の任期は令和8年7月30日から令和10年7月29日までとなります。

※2 推薦期限に推薦ができない場合はご連絡ください。

以上

南区役所区政策課
担当 菅野、三宅、高木
電話042-749-2134
FAX042-749-2116

別紙

令和8年 月 日

相模原市長 本村 賢太郎 殿

団 体 名 大野中地区まちづくり会議

代表者氏名

第9期相模原市南区区民会議委員の推薦について（回答）

標記について、次のとおり推薦いたします。

ふりがな 氏 名	
生年月日	T・S・H 年 月 日
自宅住所	(〒 -) 相模原市南区
連絡先	電 話 () 携 帯 () F A X ()
貴会における 役職等	
本市の他審議会 への参画状況	<input type="checkbox"/> 参画していない <input type="checkbox"/> 参画している 〔 審議会名 〕

テーマ『ごみの問題について』

(案1) ごみの減量化について

家庭用一般ごみの更なる分別が、10月から始まるとのことだが、ごみの減量化を更に進めるために、以下の3点について、市の考えを伺いたい。

- ①ごみの再利用化を更に進めるために、ごみの焼却灰をコンクリートやアスファルトにするなどの高度な再資源化技術を持つ民間企業の本市誘致や連携等について、市で進めることは出来ないか。
- ②市民が生ごみを乾燥させてから出せば、焼却速度が上がり、市の経費節減にも繋がるのではないか。
- ③市民が家庭において、生ごみ等を再利用する環境を整えるために、コンポストの配布や購入費助成事業を市が実施すれば、ごみの減量化や市が掲げるSDGSの推進にも繋がるのではないか。

(案2) 自治会未加入者のごみ出しについて

主に戸建ての住宅地において、自治会がごみ集積所を管理しているにも関わらず、管理費を支払わない、清掃の当番をしないなどの非協力的な自治会未加入者が中にはいます。

そうした方が、ゴミ出しのルールも守らず、ただ乗りの様に自治会管理のごみ集積所を使用しており、自治会では対応に限界を感じており、不公平感も感じています。

今後、自治会加入率が更に低下すると、こうした問題がますます表面化して、自治会加入者と未加入者の対立の火種にもなりかねません。

本来、家庭ごみの収集は、自治会の加入・未加入を問わず、市の責務と思いますが、主に自治会員が、ごみ集積所のために土地を提供したり、清掃等の負担をしている実情があります。

こうした自治会未加入者などを取り巻くごみ出しのトラブルや自治会が抱える不公平感について、市はどの様に考え、どうあるべきと考えているのか、検討している対策があれば併せて教えていただきたい。

(案3) 市モデル事業「ふれあい収集」について

ごみ出しが困難な高齢者等を対象として、家庭ごみの戸別収集と見守りを行う市のモデル事業「ふれあい収集」について、令和7年10月から各区1地区で実施しているとのことだが、これまでのところ、どのような効果や課題があると捉えているか。

また、対象者の要件として、要介護2以上、身体障害者手帳1・2級等としているが、今後、要件の変更を検討する方向にあるか。

最後になるが、今後、全市展開を検討しているのであれば、是非、前倒しして、少しでも早く取り組んでいただきたい。